

〔 横浜市民ギャラリーあざみ野 〕  
 平成 28 年度業務報告及び収支決算  
 〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

※ 文中の事業欄において、  
 ●：主催事業 ○：共催事業  
 を示します。  
 ※ 文中の達成指標、達成状況欄において、  
 □：定量的指標 ■：定性的指標  
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリーあざみ野
所在地	青葉区あざみ野南一丁目 17 番地 3
構造・規模	鉄筋鉄骨コンクリート造地上 3 階・地下 1 階
敷地・延床面積	敷地面積4,283㎡ 延床面積7,899㎡／専有面積1,975㎡
開館日	平成17年10月29日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町 2 番地 産業貿易センタービル 1 階
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 27 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

【指定管理期間中の使命】

横浜市が進める「文化芸術創造都市の全市展開」における地域活性化のモデルケースとして、指定期間第 3 期の基本コンセプト「アートでつなぐ横浜らしいまちづくり」の実現に向け、横浜市北部地域での存在感を高め、より一層のまちの魅力・活力の創出に取り組みました。

【総合的な方針】

1 アートで横浜らしいまちづくり

横浜らしい特色のある芸術文化を横浜の北部地域から発信し、まちの賑わいづくりやコミュニティの活性化を図り、「誇れるまち・住み続けたいまち」の進展に貢献しました。アートと日常生活の関係を中長期的なテーマとして捉え、横浜市北部地域をはじめとする市民が大人から子どもまで集い、アートと触れ合うことで、地域での生活、暮らしの場であるまちに活力を与えるような取り組みを進めました。

## 2 アートで子どもの育みを応援

子どもは未来の宝です。アートの力で次世代を担う子どもの成長を応援しました。豊かな感性や創造性、表現力、コミュニケーション能力、思いやりの心、自立心の育みを応援しました。開館以来、当館の大きな柱である子どもへの取り組みをさらに充実させるとともに、学校との関係、地域との関係を深め、子どもの生活とアートの力を結びつけ、全ての子どもにアートに触れる機会が行き渡るように努めました。

## 3 すべての人に開かれた運営

横浜市男女共同参画センター横浜北（以下「センター横浜北」）と共に、年齢、性別、人種、国籍、障がいの有無などに関係なくすべての人を受け入れ尊重し、開かれた施設運営を行いました。ハード・ソフトのバリアフリー化のさらなる促進、誰もが参加できるアートプログラムの協働実施、障がい者によるアートの発信などに取り組みしました。

## (2) 28年度の業務の方針及び達成目標の総括

### 【全体業務について】

平成27年度事業を継承しつつ、地域の資源活用を強化し、子どもと主婦、高齢者層に加え、青年層から中高年層（就学・就業年代）の取り込みを意識した展開を図りました。

### ① 事業についての総括

企画展は、平成27年度と同様に年間3事業を、夏・秋・新春に実施しました。

夏休みには、アーティストの作品鑑賞やワークショップ等の交流を通じ、子どもたちの心の成長を育む総合的なイベント「あざみ野こどもぎやらりい2016」を開催しました。日用品、影絵、写真等の身の回りにあるモノを題材にした多種多様な表現を紹介し、親子連れを中心に多くの子どもたちで賑わいました。

芸術の秋には、今を生きる若いアーティストに光を当てる「あざみ野コンテンポラリー『悪い予感のかけらもないさ展』」を開催しました。5人のアーティストが、それぞれの表現方法（絵画、木版画、映像インスタレーション、写真、映像）を用いて、パーソナルな感覚から創造された作品を紹介し、大きな話題となりました。

新春に行った「あざみ野フォト・アニュアル」（「フォト・ヨコハマ2017」パートナーイベント）では、写真最初期のダゲレオタイプを用いた表現活動により、第41回木村伊兵衛写真賞を受賞した気鋭の作家である新井卓の個展「ある明るい朝に」と当館収蔵の横浜市所蔵カメラ・写真コレクション（以下「カメラ・写真コレクション」）を活用した展示「写真 時間の位相」を併催し、多数のメディアに話題を提供するとともに、多くの来場者を迎えました。

各企画展の開催においては、それぞれにターゲット戦略をたて、そのタイトル設定をはじめ広報物制作（デザイン等）や広報展開に工夫を加える事で事業の発信力の強化に努めました。その結果、すべての企画展において、昨年度を上回る来場者数を達成し充実した1年となりました。

アトリエでは、引き続き小学生以下の子どもを対象とした「子どものためのプログラム」と大人を対象とした「市民のためのプログラム」を通年で実施しました。

「子どものためのプログラム」では、さまざまな日用品や材料を使った絵画、陶芸、写真、モノの制作などのワークショップ等を実施し、身近にアートに接する機会を提供しました。より低年齢

層を対象とした「親子のフリーズゾーン」では、平成 28 年度も 1 万人を超える参加者を迎えることができました。地域の特別支援学校や個別支援学級を対象としたワークショップも多数実施し、その活動を支援しました。「市民のためのプログラム」では、カメラ、デッサン、水彩画、水墨画など質の高いワークショップや講座を実施し、市民の日常に楽しみや彩りを添えるお手伝いをしました。また、当館の独自性であるカメラ・写真コレクションを活かしたプログラムとして「テクノロジーからひもとく写真表現史」をシリーズ展開し、貴重な収蔵品を紹介しました。

アート分野のみならず、地元地域や話題の分野からのエキスパートを招いて実施する講座「あざみ野カレッジ」では、現代アートの鑑賞、ひとり出版社、ジャズレーベル運営等の紹介をはじめ、民俗学と田園都市線や近隣梨農園へピクニックを敢行するなど、まちの再発見にもつながるプログラムを開催し、参加者の知的好奇心を刺激する交流の場を提供しました。

センター横浜北との協働で複合施設の特性を活かした「ロビーコンサート」（毎月 2 回開催）やレクチャールームを活用した多彩な音楽事業を企画実施し、まちの賑わいを創出すると共に、平成 28 年度に開催された「横浜音祭り 2016」を盛り上げることに貢献しました。

また、「あざみ野マルシェ&アートワゴン」や施設全体で開催する「アートフォーラムフェスティバル」では、幅広い市民団体との協働体制で開催することで団体の活動支援を行いました。

施設の開放的なロビーを活かし、カメラ・写真コレクションをテーマ別に紹介するミニ展示や若手アーティスト等の作品を紹介する展示も実施しました。特に、平成 22 年度から継続している「フェローアートギャラリー」については、他施設への巡回展という形での提携関係が構築され、次年度以降の更なる発展が見込まれます。

アウトリーチ事業として横浜市芸術文化プラットフォーム事業を 5 校実施しました。また、横浜市北部地域の大学との連携として、青葉区 6 大学連携の会議に出向いての施設紹介の実施や親子のフリーズゾーン運営への大学生ボランティアの参加の実施などを試みました。加えて、新規に学芸員課程の博物館実習生を受け入れ、教育機関との連携を深めました。

## ② 運営について

利用者にとって「安全・安心」の居心地のよい施設運営のために、全ての貸館利用者に対してアンケート回答の依頼をし、回答のあったものについては職員間での共有を図りました。複合施設を構成するセンター横浜北と手を携え、施設見学や視察及び取材対応等に共同チームでの対応し建物としてのサービス向上に取り組みました。ホスピタリティの向上と公平・公正な施設運営を心掛け、館内表示の見直しや職員によるサービス介助士資格取得等により利用者サービスの向上、バリアフリーの推進等に注力しました。

展示室やアトリエの貸し出しについては、芸術文化活動の成果が最大限発揮できるよう利用者の目線に立って希望を受け止め、必要とする市民に対しては企画から展示、撤収まで、当館の専門スタッフが展示手法や居室利用に関するサポートを行いました。加えて、貸出手続きや貸出期間区分の変更、学生利用の割引制度などについての見直しや新制度導入を図り、利用される方々の利便性向上に努めました。

貸館による展覧会の広報支援としては、施設固有の広報誌「アートあざみ野」の年内 4 回発行やホームページ上での展覧会状況写真の紹介を充実させました。

③ 管理について

アートフォーラムあざみ野の施設・設備の維持管理業務を総括的に担うセンター横浜北および管理委託会社と、週1回のミーティングを行うことで情報共有を図り、それを基にしたPDCAを徹底することで、施設の長寿命化や環境への負荷軽減に向けた管理を継続しました。

市民ギャラリーあざみ野専有設備等については、ギャラリーとしての高い水準を維持し、長寿命化を図るため、日常的に設備や備品の適切な保守管理を行い、利用者に影響を与えるようなトラブルや事故ゼロを実現しました。展示パネルなどのメンテナンス、修繕についても、円滑に進めることが出来ました。

施設管理に関するアンケートなどからのお客様からの声については、迅速に精査し現状の確認に努め、駐輪場出入り口にカーブミラーを設置する等をはじめ、必要性を認められる事項については丁寧な維持管理を心掛けました。

当館の特色である、貴重なカメラ・写真コレクションについては、長年の懸案だった「ホームページ上での収蔵品紹介」を実現しました。今後も引き続き、未整理品について、計画的な調査・整理・データベース化を実施し、適切な収蔵品の保存・管理・活用に努めながら、ホームページへの掲載品目を増やしていきます。

4 業務の取組との達成状況

(1) 事業について

ア 市民の文化芸術活動の支援について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●市民自ら行う文化芸術活動の「きっかけづくり」や継続的な活動、より専門的な活動をお手伝いします。</p>	<p>初級者向けの基礎を習得するワークショップ、中級者向けの技術や表現の向上をアーティストから学ぶワークショップを実施</p> <p><input type="checkbox"/>市民のための講座・ワークショップ</p> <p><input type="checkbox"/>年10コース以上 年間参加者 延べ800名以上</p> <p><input type="checkbox"/>平均満足度4.6以上</p>	<p>横浜北部地域に位置する市民利用施設として、市民が自ら芸術文化活動を体験することや主体的に知識獲得を行うことに対し、その一助を担う事業展開を図りました。</p> <p>●市民のためのプログラム</p> <p>主に初心者を対象としたカメラ、デッサン、水彩画、水墨画など幅広いジャンルの講座を企画し、自ら次のステップに踏み出す契機の提供を心掛けました。</p> <p>また、横浜市カメラ・写真コレクションを所蔵する当館ならではの講座（写真史）についても、シリーズ開催するなど積極的な展開を試みました。</p> <p><input type="checkbox"/>年間12コース開催 年間参加者数：延べ853人</p> <p><input type="checkbox"/>平均満足度：4.78（5点満点） 4/14～6/9 やさしく、たのしいデジタル一眼カメラ 5/16～7/11 はじめての透明水彩</p>

<p>●さまざまなジャンルの達人やプロフェッショナルによる講座やワークショップで大人の知的好奇心を刺激します。</p>	<p>生活の中にある様々なテーマをとりあげる学びの場</p> <p><input type="checkbox"/>あざみ野カレッジ</p> <p>アート関連 年3回 地域ほか広範囲な題材 年3回</p> <p><input type="checkbox"/>年間参加者 180名以上 <input type="checkbox"/>平均満足度 4.5以上</p>	<p>7/2・9 デコラティカップ 7/2～12/3 テクノロジーからひもとく写真表現史 9/29～12/22 はじめてのデッサン 10/22 木版画で実現？ドリームハウス 1/31～3/21 季節を描く水墨画 4/6～3/15 スードクロッキー 5コース</p> <p>●あざみ野カレッジ 芸術文化に限定せず、地元地域や話題の分野からのエキスパートを招き、生涯学習の場を提供することを目指しました。</p> <p>アート関連 4回、地域ほか広範囲な題材 4回</p> <p><input type="checkbox"/>参加者数：354人 <input type="checkbox"/>平均満足度：4.45（5点満点）（未達）</p> <p>5/28 現代アート鑑賞から探求へ 7/16 田園都市線と民俗学 9/10 “浜なし”農園でピクニック 9/25 TBMの足跡 10/10 現代美術探求ラボ① 11/5 いま本をつくるということ 1/21 自画像から読む人類の歩み 2/18 現代美術探求ラボ②</p>
<p>●複合施設の特徴を活かした企画展関連事業、センター横浜北との共同企画でアートフォーラムあざみ野の賑わい創出や顧客開拓をします。</p>	<p>様々なジャンルのアートに取り組み、賑わいと新規顧客を開拓</p> <p><input type="checkbox"/>あざみ野サロン 企画展関連事業、その他 舞台系 年6回 (うち「横浜音祭り2016」 連携事業 年4回)</p>	<p>○あざみ野サロン <input type="checkbox"/>事業数：年間 7事業 音楽：4、映像：1、落語：1、講演：1 (△は横浜音祭り2016関連事業を示す。4事業開催)</p> <p>△10/15 ビヨンド・ザ・ボーダー音楽祭2016 10/23 下重暁子講演会 ※センター横浜北企画 △11/12 シネマ×オルガン「瞼の母」</p>

<p>●日ごろ文化芸術に触れる 機会の少ない市民を対象 としたアートの出前事業 を行い、市民交流やコミ ュニティの活性化を図る ことで創造的なまちづく りを推進します。</p>	<p>□地域アウトリーチ事業 派遣型アウトリーチ 年1回 市民協働/地域連携型 年1回</p>	<p>△11/18 シンセサイザーワークショップ △11/19 Mother Tereco ライブパフォーマンス 1/15 新春！金原亭馬玉独演会 3/18 あざみ野アートシネマVol. 3 「荒木悠」</p> <p>●地域アウトリーチ □年間 3回 6/20・27・7/1・5・11 山内小学校：派遣型 写真ワークショップ、「自分の思いと写真」展 8/27 あざみ野夏祭り2016：地域連携型 地域のイベントに地元の大学と参加・協力 1/20～26 岩間市民プラザ：派遣型 フェローアートギャラリー阿山隆之展</p>
--	---	---

### イ 子どもたちをはじめとする次世代育成について

<p>[取組内容] ●アートを通して子どもの 感性を磨き、主体性を伸 ばすとともに、創造の喜 び、コミュニケーション 力、思いやりの心を育み ます。</p>	<p>[達成指標] 作家や大人と一緒につく る、ワークショップもある 展覧会を8月に実施 □「あざみ野こどもぎやら りい2016」1回  □来場者 3,000人以上  □身体表現ワークショップ 1回以上実施</p>	<p>[実施内容と達成状況] ●7/29～8/7(7/30を除く) 「あざみ野こどもぎやらりい2016」 夏の企画展「あざみ野こどもぎやらりい2016」は、若 手作家による展示およびワークショップと、児童が撮 った写真の展示等で構成しました。日用品・影絵・写 真等の身の回りにあるモノを題材にした多種多様な表 現を紹介し、子どもたちの心の成長を育む「総合イベ ント」として、昨年度を上回る入場者数となりました。 また、当初予定していた地下鉄駅貼りポスターについ ては、タイミングが合わず実施を見送ったので、来年 度の実施を検討しています。 □来場者数：4,077人 [展示] ・おもしろ動物たち（後藤楯比古） ・Byang Byang（川村亘平斎） ・さわって、かいで、撮って、焼く-体感写真- ・「自分の思いと写真」展 [ワークショップ] □事業数：5 うち、身体表現★：1 ・7/30 後藤さんといっしょにつくろう！</p>
--	---	--

	<p>アトリエを会場にアートと 触れ合う事業を実施</p> <p><input type="checkbox"/>アトリエ事業の年間参加 者 延べ9,000人以上</p> <p>①親子を対象とした、粘土、 紙、絵具で遊びながら学 べる、造形・創造活動</p> <p><input type="checkbox"/>親子のフリーゾーン (幼児と児童、保護者対象) 月3回</p> <p><input type="checkbox"/>親子で造形ピクニック (個別支援学級や特別支 援学校に通う親子対象) 月1回</p> <p><input type="checkbox"/>造形活動による学校支援 年10回程度</p> <p>②プログラムごとに対象年 齢を設定し、体験するこ とを大切にしたい幼児・児 童向けの多彩なワークシ ョップ</p>	<p>おもしろペンギン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7/31～8/7 おもしろ動物工作コーナー開設</li> <li>・ 8/7 光と影のワークショップ★</li> <li>・ 8/7 あざみ野ナイト</li> </ul> <p>川村亘平齋と田中馨の影絵と音楽</p> <p>[事前アウトリーチ、サポーター活動]</p> <p>6/11・25・7/9</p> <p>さわって、かいて、撮って、焼く-体感写真-</p> <p>6/20・27・7/1・5・11</p> <p>写真ワークショップ @山内小学校 ※再掲</p> <p><input type="checkbox"/>年間参加者 計：延べ11,428名</p> <p>●親子のフリーゾーン</p> <p><input type="checkbox"/>年間 36回、参加者数：10,624人</p> <p>4/6、20、29、5/11、25、29、6/8、22、26、 7/6、10、20、31、8/3、24、9/14、22、28、 10/2、12、23、11/2、16、23、12/7、11、21、 1/11、18、22、2/1、5、15、3/1、15、26</p> <p>●親子で造形ピクニック</p> <p><input type="checkbox"/>年間 12回、参加者数：203人</p> <p>4/23、5/21、6/18、7/16、8/13、9/24、10/15、 11/19、12/17、1/14、2/18、3/18</p> <p>●学校利用</p> <p>養護学校や特別支援学級を受入れ、アトリエでの美術造 形活動プログラムを無償提供しました。</p> <p><input type="checkbox"/>年間14校、延べ15団体、参加者数：305人</p> <p>●ワークショップ「子どものためのプログラム」</p> <p>さまざまな材料を使った絵画・陶芸・写真・モノの制 作ワークショップを、対象年齢にあわせた内容で実施 し、無意識のうちにアートを身近に思える機会を提供 し、いずれの事業も応募者多数により抽選を行うこと となりました。</p>
--	---	--

	<p>□幼児向け講座 年7講座 □児童向け講座 年6講座 □平均満足度4.6以上</p> <p>□子ども写真部 1事業、 年5回</p>	<p>□年間 13講座、17回、参加者数：296人 □幼児向け講座 年6講座、6回 □児童向け講座 年7講座、11回 □平均満足度 4.86（5点満点） [幼稚園・保育園の年長組相当の幼児] 5/29 焼き物しよう！ 9/22 ホチキスでとめて、とめて 12/11 木工しよう！ [幼稚園・保育園の年中組相当の幼児] 6/26 えのぐであそぼう！ 11/23 ねんどであそぼう！ 1/22 はさみであそぼう！ [小学1～3年生] 4/29 スタンプお絵描き！ 7/10 スチロールでつくろう！ 10/2 石膏でつくろう！ 2/5 糸でつくろう！ [小学4～6年生] 6/11・25・7/9 さわって、かいで、撮って、焼く-体感写真- (子ども写真部①) ※再掲 8/18～20 かき氷を描く木版画教室 3/26 ガラスに挑戦</p> <p>□子ども写真部 年3事業、9回 (一部児童向け講座と重複)</p> <p>その他の子ども関連事業 6/20・27・7/1・5・11 写真ワークショップ @山内小学校 ※再掲 (子ども写真部②)</p> <p>[市民協働のワークショップ] (主に幼児向け) 5/5 帽子をつくろう (対象年齢なし) 12/3・4 みんなでつくる あったかクリスマス (4歳以上) 子どものための鑑賞会&amp;ワークショップ 10/15 あざみ野コンテンポラリーvol.7 「展覧会を体験しよう！」 2/11 あざみ野フォト・アニュアル (子ども写真部③) 「ハイ&amp;ロースピード★ラボ」</p>
--	--	--

	<p>③当館と横浜美術館、横浜市民ギャラリーが連携して行う、展覧会の鑑賞体験と講座</p> <p><input type="checkbox"/>あざみ野アートクラブ 年2回以上</p> <p>学校支援を行います。</p> <p><input type="checkbox"/>学校アウトリーチ 横浜市芸術文化教育プログラム 3校以上</p> <p>カメラ・写真に関連するアウトリーチ 1校</p> <p><input type="checkbox"/>先生のためのワークショップ 年1回</p>	<p>※時期や企画調整がつかず未開催。(未達)</p> <p>●学校アウトリーチ 教育プラットフォーム</p> <p><input type="checkbox"/>5校実施</p> <p>10/19・20・27 三保小学校 (造形：紙)</p> <p>10/24・25 高田東小学校 (影絵)</p> <p>11/21・24 中川小学校特別支援学級 (造形：粘土)</p> <p>11/25・12/2・6 新田小学校 (ダンス)</p> <p>2/2・6・7 すみれが丘小学校 (演劇)</p> <p>6/20・27・7/1・5・11 写真ワークショップ @山内小学校 ※再掲</p> <p>●先生のためのワークショップ</p> <p><input type="checkbox"/>年間1回、参加者数：15人</p> <p>7/29 横浜市中学校美術研究会 夏期研修 「アニメーションの活動」</p>
--	--	--

#### ウ アーティスト・クリエイターの支援と創造性を活かしたまちづくりについて

<p>[取組内容]</p> <p>●新しい表現に取り組む才能豊かな新進アーティストを発掘し、紹介するだけでなく、市民とアーティストの交流の場を設けて応援したくなる仕掛けをつくる。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>企画展の関連事業として市民とアーティストが交流する事業（トークイベント、ワークショップなど）</p> <p><input type="checkbox"/>コンテンポラリー展と写真展会期中 年4回</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>●市民とアーティストが交流するイベント</p> <p>企画展出品作家と市民を繋ぐ交流会やワークショップの開催、若手アーティストや障がいを持つアーティストの常設展示コーナー設置等により、年間を通して多くのアーティストが当館で、自身の活動を発信しました。</p> <p>開放的な施設空間の中に自然な形でアピールされた作品の数々を目にする事で、他目的で訪れた人々にも、彼らの活動や作品について知る機会を提供できたと自負します。</p> <p><input type="checkbox"/>年間8回</p>
---	---	--

<p>○ミニギャラリーを設置して、若手アーティストや障がいのある人たちのアート作品を発表する場を提供します。</p>	<p>ホワイエに設置した展示ケースで新進アーティストや障がいのある人たちの小品展</p> <p><input type="checkbox"/>ショーケースギャラリー 年4回</p> <p><input type="checkbox"/>フェローアートギャラリー 年4回</p> <p><input type="checkbox"/>地域アウトリーチ（小展示） 年1回</p>	<p>「あざみ野コンテンポラリーvol.7」</p> <p>10/8 アーティストトーク#1「関川航平、鈴木光」 レセプション</p> <p>10/9 アーティストトーク#2「風間サチコ、岡田裕子、金川晋吾」</p> <p>10/22 WS「木版画で実現？ドリームハウス」 ※再掲</p> <p>10/15 展覧会を体験しよう！「子どものための鑑賞会」</p> <p>10/30 緊急アーティスト・トークトーク 「金川晋吾×石川竜一」</p> <p>「あざみ野フォト・アニュアル」</p> <p>1/28 アーティストトーク、レセプション</p> <p>2/4 対談「ダゲレオタイプに現れる時間」</p> <p>2/25 対談「新井卓×石川真生」</p> <p>●ショーケースギャラリー</p> <p><input type="checkbox"/>年間4回</p> <p>4/29～7/10 山本貴美子展</p> <p>7/16～9/25 岡田健太郎展</p> <p>9/29～12/18 進藤冬華展</p> <p>1/7～3/26 對木裕里展</p> <p>●フェローアートギャラリー</p> <p><input type="checkbox"/>年間4回</p> <p>4/19～7/17 Vol.22 ウルシマトモコ 「カキタイキモチ展」</p> <p>7/19～10/16 Vol.23 阿山隆之 「水辺と地下の世界展」</p> <p>10/19～1/15 Vol.24 與那嶺光雄展</p> <p>1/17～4/16 Vol.25 山田あこ 「ちいさな波展」</p> <p>●フェローアートギャラリー</p> <p>1/20～26 ～阿山隆之ワールド～ 岩間市民プラザ3階ギャラリー（保土ケ谷区）</p>
--	--	--

<p>○センター横浜北との協働関係をさらに強化し、文化芸術と男女共同参画の理念を融合した事業や新たな利用者を開拓する事業を展開することで、魅力あるまちづくりにつなげます。</p>	<p>①横浜のアーティスト、地域の方々が出演</p> <p><input type="checkbox"/>ロビーコンサート 年24回(ジュニアコーラス成果発表会1回を含む)</p> <p><input type="checkbox"/>ジュニアコーラスワークショップ 1コース</p> <p>②アーティストや障がいのある人たちのアート作品を発表・販売する場を支援</p> <p><input type="checkbox"/>あざみ野マルシェ/アートワゴン 年8回以上</p> <p>③男女共同参画等を題材とした創作落語の制作・発表</p> <p><input type="checkbox"/>あざみ野寄席 年1回</p>	<p>○ロビーコンサート</p> <p><input type="checkbox"/>年間24回 4/10、24、5/8、22、6/12、26、7/10、24、8/14、28、9/11、25、10/9、23、11/13、27、12/11、23、1/8、22、2/12、26、3/12、3/26に開催</p> <p>●あざみ野クリスマスジュニアコーラス2016 練習：11/3、6、13、19、26、12/3、4、10、17 発表会：12/23 ※ロビーコンサートに含む</p> <p>●あざみ野マルシェ/アートワゴン 福祉施設の活動を紹介。障がい者が育てた野菜やカラダにやさしい食品、アートな表現がひかる作品を市民に届け、大勢のお客様で賑わいました。</p> <p><input type="checkbox"/>年間9回 ・マルシェ：5/29、7/7、10/23、11/23 ・アートワゴン：5/5、7/7、8/3、9/22、1/22</p> <p>※平成29年度に「女流芸人そろい踏み演芸会」として、企画を再検討の上、実施予定。(未達)</p>
<p>○地域の人材を活用し、協働を強化します。アートサポーターの活動を拡大し、運営や広報活動への積極的な参加を促します。地元の団体やマイスターを活用した講座やワークショップを実施します。</p>	<p>④アートサポーターとの協働</p> <p><input type="checkbox"/>ワークショップ 年2回以上</p> <p>⑤全館挙げてのイベント</p> <p><input type="checkbox"/>アートフォーラムフェスティバル2016 参加団体30以上、</p>	<p>[市民協働のワークショップ]※再掲 2回 5/5 帽子をつくろう(対象年齢なし) 12/3・4 みんなでつくる あったかクリスマス(4歳以上)</p> <p>●地域で活動するボランティア団体、女性起業家を紹介。市の地産地消の取り組みにも協力しました。 通年 アートプラザのお弁当屋さん</p> <p>●アートフォーラムフェスティバル <input type="checkbox"/>参加団体：66団体 <input type="checkbox"/>来場者数：3,888人</p>

<p>○青葉区が展開する6大学連携事業、横浜市北部4区の大学と連携を図り、人材の交流やコミュニティの活性化を実現します。</p>	<p>来場者3,000人以上</p> <p>□「横浜音祭り2016」との連携</p> <p>□あおば美術公募展 7月</p> <p>□青葉区民芸術祭 11月</p> <p>□大学との連携を図る 随時</p> <p>□ワークショップやインターンシップ 2回</p>	<p>●フェスティバル連携事業「横浜音祭り2016」計20回 5/8～11/27 ロビーコンサート 計14回 ※再掲 (毎月第2・4日曜日開催)</p> <p>9/25 あざみ野カレッジ「日本のジャズの発展を支えた幻のレコードレーベル TBM」</p> <p>10/7～10/30 あざみ野コンテンポラリーvol.7 「悪い予感のかけらもないさ展」</p> <p>10/15 あざみ野サロンVol.50「ビヨンド・ザ・ボーダー音楽祭2016 in あざみ野」</p> <p>11/12 あざみ野サロンVol.52「シネマ×オルガン『暎の母』」</p> <p>11/18 シンセサイザーワークショップ</p> <p>11/19 Mother Tereco- Electronic Session</p> <p>○あおば美術公募展 7月11日～24日</p> <p>○青葉区民芸術祭 11月8日～11月20日</p> <p>○大学連携</p> <p>□年間6校、9企画(インターンシップ系3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国学院大学 <ul style="list-style-type: none"> <li>*あざみ野夏祭り2016参加</li> <li>*「親子のフリーズーン」への運営補助ボランティア受け入れ</li> </ul> </li> <li>・城西国際大学:メディア学部による、企画展紹介映像制作と公開 3本 <ul style="list-style-type: none"> <li>*Gallery in the Lobby</li> <li>*あざみ野コンテンポラリーvol.7</li> <li>*あざみ野フォト・アニュアル</li> </ul> </li> <li>・学芸員課程「博物館実習」実習生受け入れ <ul style="list-style-type: none"> <li>*沖縄県立美術大学</li> <li>*八洲学園大学</li> </ul> </li> <li>・東京藝術大学:学芸員、修復家、アーティストを対象とした近現代美術作品の最新の保存修復情報の共有</li> <li>・横浜美術大学:青葉区主催「フォトジェニック青葉 花と緑のフォトコンテスト」連携</li> </ul>
--	---	--

エ 横浜らしい先進的な文化芸術の市民への発信について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●企画展はコンテンポラリーアートを中核により多くの市民に足を運んでいただけるよう「横浜らしさ」「親しみやすさ」「暮らしに身近な」をコンセプトに展開し、「誇れるまち・住み続けたいまち」の進展に貢献します。</p> <p>●都心部のフェスティバル事業と連携した企画によ</p>	<p>□企画展「あざみ野コンテンポラリー」(10月)</p> <p>□来場者3,000人以上</p> <p>□平均満足度4.6以上</p> <p>□「横浜音祭り2016」連携事業 ※再掲</p>	<p>●10/7～10/30 あざみ野コンテンポラリー vol. 7 「悪い予感のかけらもないさ展」</p> <p>現代美術の展覧会は、作品の難解さに加え、タイトルも抽象的なものが多く、一般的にはどうしても馴染みが薄いものとなる傾向がありますが、今回は、忌野清志郎のスローバラードと言う広く知られた楽曲のフレーズを採用することで美術ファンのみならず、一般にも強くアピールし、結果として様々な層の観客を得る事が出来ました。</p> <p>また、作品もタイトルと緩やかながら有機的に繋がりがあ鑑賞しやすさに貢献しました。5作家それぞれのメディア（絵画、版画、インスタレーション、写真、映像）を用いた出展作品は、内容的にも鑑賞者の共感を呼ぶものであり、各出品作家たちの次なるステップの足掛かりとなるグループ展となりました。</p> <p>□来場者数：5,856人</p> <p>□平均満足度：4.22（5点満点）（未達）</p> <p>[展示]</p> <p>岡田裕子、風間サチコ、金川晋吾、鈴木光、関川航平</p> <p>[関連イベント]</p> <p>10/16、30 学芸員によるギャラリートーク</p> <p>※以下、再掲事項</p> <p>10/8 アーティストトーク#1「関川航平、鈴木光」レセプション</p> <p>10/9 アーティストトーク#2「風間サチコ、岡田裕子、金川晋吾」</p> <p>10/15 展覧会を体験しよう！ 「子どものための鑑賞会&amp;ワークショップ」</p> <p>10/22 ワークショップ「木版画で実現？ドリームハウス」</p> <p>10/29 アートなピクニックー視覚に障がいのある人とない人が共に楽しむ鑑賞会</p> <p>10/30 緊急アーティスト・トークトーク 「金川晋吾×石川竜一」</p> <p>●フェスティバル連携事業「横浜音祭り2016」計20回 5/8～11/27 ロビーコンサート 計14回</p>

<p>って、イベント周知や盛り上げの相乗効果を発揮し、横浜の魅力を横浜北部地域からの発信役を担います。</p>	<p>4回以上（あざみ野サロン4回を含む）</p>	<p>（毎月第2・4日曜日開催）※再掲  9/25 あざみ野カレッジ「日本のジャズの発展を支えた幻のレコードレーベル TBM」※再掲  10/7～10/30 あざみ野コンテンポラリーvol. 7  「悪い予感のかけらもないさ展」※再掲  10/15 あざみ野サロンVol.50「ビヨンド・ザ・ボーダー音楽祭2016 in あざみ野」※再掲  11/12 あざみ野サロンVol.52「シネマ×オルガン『瞼の母』」※再掲  11/18 シンセサイザーワークショップ※再掲  11/19 Mother Tereco- Electronic Session※再掲</p>
---	---------------------------	---

オ カメラ・写真コレクションの展示・保存・調査研究・教育普及について

<p>[取組内容]</p> <p>●コレクションを最適な環境で保存し、貴重なコレクションを劣化させることなく、次代に引き継ぎます。</p> <p>●コレクションを活用した鑑賞の機会を提供し、カメラ・写真ファンの要望に応えるとともに、市民</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□データベース整備  カメラ：完了、カメラ以外：90%</p> <p>■作品の状態確認、修復</p> <p>■「近現代美術作品の保存修復に関する研究」に参加</p> <p>■収蔵環境の調査を実施</p> <p>■貸出、熟覧への柔軟な対応</p> <p>①『フォト・ヨコハマ』の時期に合わせて、横浜市所蔵カメラ・写真コレクション&amp;写真企画展を実</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>●収蔵作品の状態確認・調査・整備  作品の保管状態を点検・改善しながら作業を行いました。不正確な目録を調査、補完して修正しています。</p> <p>□データベース整備  カメラ：100%、カメラ以外：90%</p> <p>■写真を安全に収蔵するため、割れやすい額から外せる作品を外しました。</p> <p>■混載保管され潰れやすくなっていた紙資料を取出し、紙保管に適した中性紙箱に収納しました。</p> <p>■東京藝大保存研究レクチャー（12/14）へ当館学芸員が参加しました。</p> <p>■毎月1回 収蔵庫内環境を確認しました。</p> <p>■貸出、熟覧  □年間 画像貸出：1件  □情報誌「アートあざみ野」コラム掲載：4回</p> <p>■ホームページでのコレクション公開  8月より一般公開開始、随時更新中です。  3月31日時点の公開点数：450点</p>
--	--	---

<p>に分かりやすくカメラや写真の歴史を伝え、カメラ・写真文化に親しんでいただきます。同時に、日本における写真発祥の地の一つといわれる横浜市の映像文化都市づくりに貢献します。</p>	<p>施</p> <p><input type="checkbox"/>「あざみ野フォト・アニュアル」</p> <p><input type="checkbox"/>来場者 3,000 人以上</p> <p><input type="checkbox"/>平均満足度4.6以上</p> <p>②テーマを設定し、ロビーに設置したケース内で紹介する小展示</p> <p><input type="checkbox"/>「Gallery in the Lobby」年 4 回</p>	<p>●1/28～2/26 あざみ野フォト・アニュアル （「フォト・ヨコハマ 2017」パートナーイベント） 写真最初期のダゲレオタイプを用いた表現活動により、第 41 回木村伊兵衛写真賞を受賞した気鋭の作家新井卓の個展「ある明るい朝に」と当館収蔵の横浜市所蔵カメラ・写真コレクション（以下「カメラ・写真コレクション」）を活用した展示「写真 時間の位相」を併催しました。展示手法として、作品約 250 点を被写体や表現に合わせ照明、音響などを駆使したインスタレーションとして完成させました。作家のこれまでの活動を総括し、今後の可能性を提示しただけでなく、当館のポテンシャルを最大限引き出す展示構成となりました。</p> <p>会期中には、新聞各社での記名記事が 4 件（朝日、神奈川、毎日、読売）あり、新井氏の古典技法に対する不断の努力とテーマ設定、新たな表現への意欲が高く評価されました。</p> <p><input type="checkbox"/>来場者数：6,317 人</p> <p><input type="checkbox"/>平均満足度：4.67（5 点満点）</p> <p>[展示]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ある明るい朝に 新井卓展</li> <li>・平成 28 年度コレクション展「写真 時間の位相」</li> </ul> <p>[関連イベント]</p> <p>2/12、26 学芸員によるギャラリートーク</p> <p>※以下、再掲</p> <p>1/28 アーティストトーク、レセプション</p> <p>2/4 対談「ダゲレオタイプに現れる時間」</p> <p>2/11 子ども写真ワークショップ 「ハイ&amp;ロースピード★ラボ」</p> <p>2/18 アートなピクニックー視覚に障がいのある人とない人が共に楽しむ鑑賞会</p> <p>2/25 対談「新井卓×石川真生」</p> <p>●Gallery in the Lobby 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション</p>
---	--	--

	<p>③ワークショップや講座を通じて、カメラや写真制作に関わる理解を推進</p> <p>※市民向け、子ども向けともに、前出の実施数に含む</p> <p>(4-(1)ア・イに前掲)</p>	<p>□年間4回</p> <p>4/28～5/29 カメラのしくみ</p> <p>10/1～10/23 一眼レフカメラってなに?</p> <p>10/26～11/20 変装するカメラ</p> <p>3/3～3/26 記念品と写真</p> <p>●カメラや写真制作に関わるワークショップ、講座</p> <p>□年間9事業</p> <p>[ワークショップ] ※再掲</p> <p>4/14～6/9</p> <p>やさしく、たのしいデジタル一眼カメラ</p> <p>6/11・25・7/9</p> <p>さわって、かいで、撮って、焼く-体感写真-</p> <p>6/20・27・7/1・5・11 写真ワークショップ (山内小学校)</p> <p>2/11 子ども写真ワークショップ</p> <p>「ハイ&amp;ロースピード★ラボ」</p> <p>[講座、イベント] ※再掲</p> <p>7/2～12/3</p> <p>テクノロジーからひもとく写真表現史</p> <p>10/30 対談「金川晋吾×石川竜一」</p> <p>1/28 アーティストトーク、レセプション</p> <p>2/4 対談「ダゲレオタイプに現れる時間」</p> <p>2/25 対談「新井卓×石川真生」</p>
--	---	---

(2) 運営について

ア 市民の文化芸術活動の支援について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●貸館</p> <p>利用の際のアドバイスを充実させ、利用者の制作活動や発表の場で最大限の成果が得られるように支援します。</p>	<p>□利用率の目標</p> <p>展示室1、2とも 95%</p> <p>アトリエ</p> <p>コマ単位 63%</p> <p>日にち単位 93%</p> <p>夜間コマ 36%</p>	<p>●貸館</p> <p>□展示室1 : 97% (半面A:95%; 半面B:99%)</p> <p>展示室2 : 94% (半面A:93%; 半面B:94%) (未達)</p> <p>□アトリエ</p> <p>コマ単位 53% (未達)</p> <p>日にち単位 83% (未達)</p> <p>夜間コマ 27% (未達)</p> <p>※全て小数点以下四捨五入</p> <p>展示室の利用率は昨年度に引き続き、高い状態で推移しました。しかしながら、アトリエに関しては昨年度比でも減少し、目標を達成することができませんでした。期中、学生割引等を導入しましたが、効果的な打開策が</p>

<p>●文化芸術創造活動発表を行う団体等への各種支援 施設利用者の広報協力ほか専門施設ならではの支援をします。また、ご利用を検討中の方や利用抽選に外れた方への丁寧な対応をします。</p>	<p>■展示構成の専門性の高いアドバイスの実施</p> <p>■広報の協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展覧会情報を情報誌『アートあざみ野』で紹介</li> <li>・チラシや案内ハガキをエントランスに判りやすく配架</li> <li>・展覧会の風景写真をホームページで紹介</li> </ul> <p>■問合せへの的確で丁寧な対応、現場視察への対応</p>	<p>見出せていない状況です。</p> <p>■展示室、アトリエの事前打合せを行い、展示方法のアドバイス、不明な点の解消や要望に応えるよう努めました。展示室内での演奏、茶席の設営などの要望には、当日の全館利用状況をみながら調整・実現を図りました。</p> <p>■広報の協力</p> <p>昨年度に引き続き、広報誌「アートあざみ野」や施設ホームページトップに展示室、アトリエの利用を掲載すると共に、展示室については、会期中の会場写真もアップしました。チラシや案内については、常時受け入れ、館内配架いたしました。</p> <p>■可能な限りお客様の都合に合わせる形で、打ち合わせ及び現場視察に対応するように努めました。</p>
<p>●施設提供に関する利用者サービスを実施します</p>	<p>■ホームページでの施設情報提供</p> <p>■市内外ギャラリー情報の提供</p> <p>■アトリエの夜間利用料金割引による新規利用者開拓と利用促進</p> <p>■新たな割引制度を導入 学生割引の導入</p> <p>■利用期間中の物品預かり</p>	<p>■ホームページ上に、分かりやすい文章表記を心掛けた施設情報を記載しました。</p> <p>加えて、新規に施設概要の英文表記も掲載しました。</p> <p>■1階エントランスロビーにて当館に寄せられた、市内外ギャラリーや文化施設のリーフレットやチラシ類を分野別に閲覧しやすい形で配架いたしました。</p> <p>■過去当館を利用した方々に「割引制度」に関する情報を記載したお知らせを一斉送付いたしましたが、利用促進に特段の効果は得られませんでした。</p> <p>■関係各所と調整を図り、新たに「学生割引制度」を導入し、近隣教育機関に周知しました。</p> <p>■随時、物品預かりを実施しました。</p>

イ 利用促進、利用者サービスの向上及びアイディア、ノウハウの提案について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●利用者/来館者の声を常に最前線で聞き、サービスを向上させ、利用者満足度を高めます。また、来館者だけでなく、潜在的なニーズを把握し、来館者増につなげます。</p>	<p>□アンケートによる展示室利用者の満足度 4.6以上</p> <p>□北部4区を対象に認知度調査を実施 施設の認知度 28% (平成26年度22%)</p>	<p>□平均満足度 展示室：4.63（5点満点）</p> <p>□施設（横浜市民ギャラリーあざみ野）の認知度 20.7% (未達)</p> <p>「アートフォーラムあざみ野の認知度」 31.3% 平成28年度5月に、平成26年度と同様の条件で認知度</p>

<p>●要望や苦情への対応、運営改善</p>	<p>■利用者のクレームや意見を館内職員で情報共有し、迅速な運営改善につなげます。</p>	<p>調査を実施しました。 結果は、20.7%と前回に比べ-1.5%となりました。 ただし、同様に調査をした「アートフォーラムあざみ野」の認知度が前回(27.1%)比で+4.2%である事から、複合施設総称の認知度は上がっていると考えます。</p> <p>■フリーWi-Fiの導入（3/27） 施設共用部にフリーWi-Fiのシステムを導入、お客様の施設内での利便性向上に努めました（本格稼働は、平成29年度）。</p> <p>■施設設備に関するお客様の御意見については、定例会議内で精査し、実施が必要と判断されるものについては、迅速に対応を図りました（駐車場出口のカーブミラー設置等）。</p> <p>■管理合同ミーティングを火曜日に行い、アートフォーラム全体でクレームや意見を共有、対応策を協議しています。迅速で公平な運営改善を行っています。</p>
------------------------	---	---

ウ 組織的な施設運営について

<p>[取組内容]</p> <p>●専門職員、管理・運営職員ともに適切な人材を配置</p> <p>●適切かつ効果的な勤務体制を確立</p> <p>●切れ目のない責任体制の維持</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="472 1160 887 1406"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>8人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨時職員</td> <td>3～5人</td> <td>短時間勤務</td> </tr> </tbody> </table> <p>■勤務体制について（基本） 早番（8：45～17：30）2名 遅番（12：30～21：15）2名 （全職員によるローテーション制）</p> <p>■繁忙に応じて柔軟なシフトを組み、職員のワークライフバランスに合わせた勤務と効率的な運営を両立させ、良質な利用者サービスを提供します。</p> <p>■館長・副館長不在時の代行者を明確にし、責任体制を維持します。</p>	項目	人数	備考	館長	1人		副館長	1人		職員	8人		臨時職員	3～5人	短時間勤務	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="951 1160 1422 1406"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>8人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨時職員</td> <td>3～5人</td> <td>短時間勤務</td> </tr> </tbody> </table> <p>■勤務体制について（基本） 早番（8：45～17：30）2名 遅番（12：30～21：15）2名 （全職員によるローテーション制）</p> <p>■施設の利用状況や事業準備及び実施の業務繁忙に応じて、柔軟かつ効果的なシフトを組み、職員のワークライフバランスに合わせた勤務と効率的な運営の両立を実現しました。</p> <p>■館長・副館長不在時の代行者を明確にすることはもとより、緊急連絡先の職員間共有により、責任体制を明確化しました。</p>	項目	人数	備考	館長	1人		副館長	1人		職員	8人		臨時職員	3～5人	短時間勤務
項目	人数	備考																														
館長	1人																															
副館長	1人																															
職員	8人																															
臨時職員	3～5人	短時間勤務																														
項目	人数	備考																														
館長	1人																															
副館長	1人																															
職員	8人																															
臨時職員	3～5人	短時間勤務																														

エ 本市の重要施策を踏まえた取組みについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●適正な個人情報保護・情報公開</p>	<p>横浜市の発信する情報や指定管理者研修会への参加等を通して重要施策を理解し、積極的に協力します。</p> <p>また、当財団のコンプライアンス委員会における議論や情報を共有し、職員のコンプライアンス意識を高めます。</p> <p>■個人情報は規程及びマニュアルに基づき適切に取り扱います。</p>	<p>経常的にコンプライアンス研修のほか、職員ミーティング等で注意喚起に努めました。マイナンバー収集にあたっては、実務に沿った研修、作業における事務所内における目隠しの徹底などに努め、個人情報の漏えい防止対策を行いました。</p> <p>■個人情報の保管 施錠管理、パスワードロック</p> <p>■マイナンバー対応マニュアルの新規作成、研修</p>
<p>●人権尊重</p>	<p>■すべての人に開かれた施設として公平・公正な施設運営のため、人権尊重の取組みを大切にします。</p>	<p>■平成28年4月1日に施行された「障害者差別解消法」の内容を把握し、来館される方々が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に貢献する施設運営を目指しました。</p> <p>■新規に職員1名が「サービス介助士」の資格を取得し、より多くの人に公平・公正な利用をしていただける施設の実現を目指しました。</p>
<p>●環境への配慮</p>	<p>■ゴミを適切に分別し、排出量を抑えます。利用者にはゴミの持ち帰りの原則を徹底し、必要な場合はゴミ袋を有料で販売します。</p> <p>■電気とガスの使用量を前年度並みに抑制します。</p>	<p>■利用者にはゴミの持ち帰りをお願いし、事務所で発生するゴミも細かく分別して再利用を促進し、排出量を抑えるよう努めました。</p> <p>「アートフォーラムあざみ野（複合施設）」全体でのゴミ排出量は、3,474kg（前年3,033kg）でした。</p> <p>■空調運転など工夫し年間使用量の削減を実現しました。</p> <p>電気 前年度の97.62%に削減 ガス 前年度の92.84%に削減</p>
<p>●市内中小企業への優先発注</p>	<p>■物品購入・委託等は、アーティスト指定や市外業者のみが取り扱うものを除き、市内業者に発注します。</p>	<p>■物品購入・業務委託等にあたっては、有資格者名簿を参考に複数業者に見積りを取るなどし、出来得る限り市内業者への発注に努めました。</p>

(3) 管理について

ア 施設及び設備、備品の維持保全及び管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●共用部分については、アートフォーラムの中長期修繕計画を策定し、それに基づく管理を適性の実施するとともに必要な経費を負担します。</p> <p>●専有部分についても中長期的な視点に立ち、総合的な保全管理に取り組めます。</p>	<p>アートフォーラムでは、日常的に共用部分・専用部分の区別無く、全職員（ギャラリーあざみ野、センター横浜北、管理委託会社）が協力して、施設・設備・備品の維持管理を行います。</p> <p>■電気・空調・衛生設備・昇降機点検、建築基準法12条に基づく点検 法定通り実施</p> <p>□AEDを設置 操作研修 年1回</p> <p>□センター横浜北、管理委託会社との管理検討会 年1回</p> <p>■横浜市が策定する「維持保全の手引き」および「施設管理者点検マニュアル」に基づく点検・報告： 随時</p> <p>□展示室壁面の塗り直し 年1回</p>	<p>毎週1回の管理合同ミーティングの中で、施設や設備の不具合を共有し、効率的で効果的な修繕を実施しました。</p> <p>■法定点検 実施 業務の基準に基づく点検・清掃＝実施</p> <p>□AED設置 2台 ※1台はセンター横浜北所有</p> <p>□操作研修 年1回（外部研修に参加）</p> <p>□維持管理の検討会 年3回 そのほか毎週開催の管理合同ミーティングでエネルギー使用量削減の相談をするほか、10月、12月、2月に不具合リストを作成して、修繕の優先順位や時期、対応策を検討しました。</p> <p>■設備管理業務を専門業者に委託し、横浜市が策定する手引きやマニュアル、業務の基準に沿って、専門的な知識に基づく施設管理を随時行っています。不具合は小さなうちに発見し、自ら修繕できるものは速やかに対応しました。</p> <p>□展示壁面の補修・塗り直し 1回：1/5～7 電気式陶芸釜の補修 1回：6/9</p>

イ 小破修繕への取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●小破修繕については、センター横浜北および管理委託会社・設備点検業者とともに、遺漏無く早期</p>	<p>■不具合を早期発見し、修繕必要箇所に迅速に対応します。</p>	<p>■建物及び設備管理業務を専門業者に委託し、横浜市が策定する手引きやマニュアル、業務の基準に沿って、専門的な知識に基づく施設管理を行っています。不具合は小さなうちに発見し、自ら修繕できるものは速や</p>

<p>発見、対応を行い、建物・設備の長寿命化を図ります。また、クレームの無い、快適な環境を維持します。</p>	<p>■適切で効率的な維持保全及び管理により、良好な状態を保持し、クレームの無い快適な環境維持を目指します。</p>	<p>かに対応しました。</p> <p>■建物及び設備管理業務を専門業者に委託し、毎週1回の管理合同ミーティングでの現況確認を経常化しています。平成28年度は、施設利用環境における、利用者からのクレーム等はありませんでした。</p>
---	--	--

ウ カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管について

<p>[取組内容]</p> <p>●貴重なコレクションを良好な状態で次代に引継ぎ、最大限活用するために、適切な収蔵、保管にあたります。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□展示室内環境は、年間通して温度 20℃±2℃、湿度 50%±2%</p> <p>■pH 値を定期的に測定し、測定結果に応じたケミカルフィルターを設置</p> <p>□文化財喰害虫生息調査 年8回実施</p> <p>□庫内点検、定期的な清掃を実施 月1回</p> <p>■東京都写真美術館、日本カメラ博物館、横浜美術館などの専門機関と協力・連携</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>展示室内の空調管理、収蔵庫の空調やpH管理を行い、作品の収蔵に適した空気環境を整えました。収蔵庫が地下駐車場から展示室への搬入ルートに位置することから、周辺環境は望ましい状況にありません。喰害虫の入り込みに一層気を配り、出入りを制限しました。</p> <p>□展示室の温湿度管理 計画通り実施。</p> <p>■pH値を定期的に測定し、測定結果に応じたケミカルフィルターを設置しました。</p> <p>□文化財喰害虫生息調査 年8回</p> <p>□庫内点検、定期清掃 月1回（毎月10日頃に実施）</p> <p>■日本カメラ博物館と日常的に連携し、コレクションの管理について協議しました。</p>
---	---	---

エ 事故防止策・緊急時(防犯)の対応、防災に対する取り組みについて

<p>[取組内容]</p> <p>●アートフォーラムでは、全職員（市民ギャラリーあざみ野、センター横浜北、管理委託会社）が、日常的に危険箇所や不審者等を早期に発見し、対処します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■これまで蓄積してきた各種マニュアルを常に見直し、新たな危機の想定など、必要に応じた更新・改訂をしていきます。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■人事異動に伴い、緊急連絡網や消防計画、機械警備マニュアルの見直しを行いました。</p> <p>また、クレーム対応の共有は、運営上の事故防止につながりました。</p>
---	--	---

<p>●緊急時には「利用者の安全第一」と「迅速さ」を基本方針として対応します。</p> <p>●防災の取組みとして近隣の防災拠点としての役割を担います。</p>	<p>■安全管理マニュアルを見直し、必要に応じて更新します。</p> <p>■常に全職員がマニュアルを理解するように定期的確認行動を図り、危機の際には「アートフォーラムあざみ野」全職員が一致して対応します。</p> <p>□センター横浜北との合同防災訓練 年2回</p> <p>□帰宅困難者一時滞在施設対応訓練 年1回</p>	<p>■防災訓練にあわせ、横浜市への通報や伝言ダイアルの利用手順を確認しました。3月には、消防署の立会いのもと「アートフォーラムあざみ野」職員が合同で、消火器の取り扱いを学び、スモークテントで火災時の煙を体験しました。</p> <p>上半期には消防設備の取扱いと避難経路や備蓄品の場所を確認、下半期には「シナリオなき防災訓練」を実施し、より実践的な訓練を実施しました。</p> <p>□合同防災訓練 年2回：9/6、3/14 (内1回は、シナリオなき防災訓練 3/14)</p> <p>□帰宅困難者一時滞在施設対応訓練(備蓄食料等の確認) 年1回：9/6</p>
--	---	---

(4) その他

ア 広報の充実について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●ホームページの内容を充実させ、最新の情報を発信します。</p> <p>●より多くの市民に情報が行き渡るように様々な広報媒体を活用します。</p>	<p>□ホームページ更新 週1回以上</p> <p>□ホームページアクセス件数 年間50万件以上</p> <p>□メールマガジン 月1回の定期配信</p> <p>□情報誌「アートあざみ野」 年3回以上発行</p> <p>□企画展の広報 交通広告を年3回掲出</p> <p>□無料媒体(フリーペーパー、「広報よこはま」など) 月1回以上掲載</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>施設ホームページに展示室やアトリエスケジュールを掲載しています。</p> <p>□ホームページ更新 週3回程度</p> <p>□アクセス数 トップページ：1,087,524件 ページ(全てのページ)：4,490,367件</p> <p>□メールマガジン発行 年23回配信 月1回の定期配信、ほか不定期配信</p> <p>□「アートあざみ野」 年4回発行：vol.39～42</p> <p>□有料広報 こどもぎやらりい、市民のためのプログラム(講座募集)、シネマ×オルガンなど地元地域への周知を厚くする場合、直接的な効果(反応)が高い地元タウン誌での有料広報で情報発信を行いました。</p> <p>平成28年度は、交通広告と事業開催時期の折り合いがつかず、交通広告は実施いたしませんでした。(未達)</p> <p>□毎月1回以上掲載 「広報よこはま」では、毎月当館のコーナーを設け情報発信がされました。また、地元タウン誌の情報掲載欄に</p>

<p>○センター横浜北との広報協力をを行い、相乗効果を発揮します。</p>	<p>■事業内容や想定対象層等を踏まえて、効果的な媒体を選択し、コストパフォーマンスの高い集中広報を行います。</p> <p>□センター横浜北との合同広報会議 月 1 回</p>	<p>都度情報掲載がされました。</p> <p>■広報よこはま、フリーペーパー、ラジオなどの無料媒体は、その時々旬な事業（企画展3種）やトピックス（講座、公演系）を「街ネタ」的に発信し施設の存在をアピールする目的に利用しました。</p> <p>□正式な会議としては、6月、7月、8月の3回開催しました。合同広報会議については、定期開催ではなく毎週1回の管理ミーティングの際や共催事業開催時に随時行いました。特に、10月に開催した共同主催の「アートフォーラムフェスティバル2016」では、当日のパンフレットを兼ねたリーフレットやフラッグを作成し、それぞれの所有する分野の広報先を持ち寄って整理し施設としての周知に努めました。また、両者合意の上、初めてチラシを新聞折込し、高い効果を上げました。</p>
---------------------------------------	---	---

## 5 収支について

### (1) 指定管理料のみに依存しない収入構造について

<p>[取組内容]</p> <p>●自主事業の一部については、指定管理料を充当せずに行います。</p> <p>●利用料金収入を安定的に確保します。</p> <p>●助成金・協賛金、現物協賛の獲得を目指します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□収支ゼロ若しくは黒字で 行う自主事業の運営 年間 42 万円</p> <p>□利用料金収入（施設・駐車場） 年間 1,280 万円以上</p> <p>□助成金を 2 件以上申請</p> <p>□協賛金・広告料とあわせて外部資金を獲得 100 万円以上</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□年間 160 万円</p> <p>「市民のためのプログラム」（年間 12 コース、参加者数：延べ 853 人）については、全体収支における受益者負担率が 99%を達成しました。</p> <p>□年間 1,139 万円（未達）</p> <p>□助成金を 5 件申請</p> <p>□助成金・協賛金・広告料獲得 108 万円</p> <p>企画展「あざみ野コンテンポラリー」に対し 30 万円、音祭り連携 2 事業に計 50 万円を獲得したと共に、広報誌への広告収入や現物協賛（写真プリント、飲料提供等）を獲得しました。</p>
--	---	---

### (2) 経費削減等効率的運営の努力

<p>[取組内容]</p> <p>○経費削減、効率的運営を</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■センター横浜北とも協力</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■建物総合管理、設備保守、警備、受付、清掃業務委託に</p>
-----------------------------------	-----------------------------------	--

行います。	し、施設管理にかかる委託費を前年度並みに抑制	については、前年度並み（予算内）に抑えることができませんでした。築10年を超え、建物・設備・事務機器等の不具合が増えたため、修繕費は増えています。（未達）
-------	------------------------	---

## 6 PDCA サイクルの確実な運用

<p>[取組内容]</p> <p>●PDCAサイクルの基本指標となる日報、月報の作成・管理を確実に行います。</p> <p>●事業計画書・事業報告書の作成・管理を行います。</p> <p>●業務評価を実施します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□業務日報の作成 毎日</p> <p>■月報と月締め完了確認書を作成</p> <p>□モニタリング 月1回</p> <p>□事業計画書・事業報告書の作成 事業計画に沿って成果が見える報告書を作成</p> <p>□自己評価（仮決算含む）年2回</p> <p>□横浜市第三者評価（期中1回）年1回</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□毎日、業務日報は、その日に起きたことを記載し、管理職まで回覧後、ファイリングしました。</p> <p>■月報及び月締め完了確認書については、遅滞なく作成されました。</p> <p>□毎月1回の横浜市とのモニタリングを確実に遂行しました。</p> <p>□事業計画に沿った成果が把握できる報告書を期日までに作成しました。</p> <p>□年2回 仮決算及び報告書作成時などに、業務に関する自己評価を行いました。</p> <p>□平成29年度が第三者評価対象年にあたるので、それに向けた選定評価委員の視察を年3回の企画展に合わせて行いました。</p>
--	---	--

## 7 その他

<p>[取組内容]</p> <p>●市民の生命と安全を守ることを第一義として、適切な保険に加入し、万々に備えます。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■施設賠償保険は館内すべてを対象とするため、アートフォーラムあざみ野として男女共同参画センター横浜北が契約し、費用については応分負担します。</p> <p>■作品借用や施設外事業、ボランティアに係る保険契約については、個別に契約し、賠償請求について対応します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■施設賠償保険については、館内すべてを対象とするため、アートフォーラムあざみ野としてセンター横浜北が主体となり契約し、その費用については、当方側も応分負担いたしました。</p> <p>■全ての対象において、遅滞なく適正な保険に加入しました。平成28年度は、保険金支払い請求を行う事案は発生いたしませんでした。</p>
---	---	--

<p>●関係法令を順守し、公的機関としての役割を果たします。</p> <p>●よりよい市民サービスの提供を目指し、市及び関係機関との連絡調整を行います。</p>	<p>■現行の関係法令を遵守するとともに、法令改正に気を配り、契約等の前に確認を行います</p> <p>■事故や不具合時は即日報告とし、随時共有します。</p>	<p>■関係法令の遵守はもちろんのこと、個人情報法保護や障害者差別解消等に関する法令の改正や公布に、随時気を配り、業務遂行への反映を図りました。</p> <p>■事故や不具合が発生した場合、迅速なる対応とともに、管理者や関係部署へ、即日報告を徹底しました（平成28年度については、甚大な事故や不具合は発生しませんでした）。</p>
--	--	---

【別紙】

## 平成28年度 横浜市民ギャラリーあざみ野 自主事業実績一覧

## 1. 市民の文化芸術活動の支援

(千円)

No.	実施時期	主催/共催	事業名	会場	事業内容	入場者・参加者数	事業費(支出)
1	9月29日 -12月22日	主催	市民のためのプログラム(入門編) 「はじめてのデッサン」	アトリエ	静物、人物のモチーフを鉛筆で時間をかけて描くことによって、デッサンの基礎を学ぶ講座。 1コース(7回講座)	136	334
2	5月16日 -7月11日	主催	市民のためのプログラム(入門編) 「はじめての透明水彩」	アトリエ	水彩画に挑戦したい人向け。基礎から丁寧に学び、静物や写真などを題材に、毎回一枚の絵を仕上げる。 1コース(5回講座)	96	269
3	1月31日 -3月21日	主催	市民のためのプログラム(中級編) 「季節を描く水墨画」	アトリエ	水墨画を描いてみたい人向け。毎回、花や野菜など季節のモチーフを仕上げながら、墨の濃淡や筆触、にじみ等で表現していく水墨画の魅力に触れていきます。 1コース(5回講座)	92	193
4	4月6日 -3月15日	主催	市民のためのプログラム(中級編) 「ヌードクロッキー」	アトリエ	参加者が様々な画材で自主的に制作できる人気の講座。5分、10分、20分と時間をかえて、いろいろなポーズを描く。 5コース(各4回講座)	388	506
5	7月2、9日	主催	市民のためのプログラム(ショーケースギャラリー) アーティストに学ぶ 山本貴美子 「デコラティブカップ」	アトリエ他	ショーケースギャラリー関連ワークショップ ビーズや捨てられないボタンなど、日常的には使わないけれど自分にとって思い入れがあるモノを型取りして、自作のカップに貼り付けて作品にする(2回講座)	13	114
6	10月22日	主催	市民のためのプログラム(あざみ野コンテンツボラリーvol.7関連) アーティストに学ぶ 「木版画で実現?ドリームハウス」	アトリエ	あざみ野コンテンツボラリーvol.7 関連ワークショップ 「悪い予感のかけらもないさ展」出品作家の風間サチコによる、木版画で夢の家をつくるワークショップ。	6	41
7	①5月28日 ②10月10日 ③1月21日 ④2月18日	主催	あざみ野カレッジ(文化、芸術等)	アトリエ	アート関係を含む多彩な講師を迎え、生活の中にある様々なアートや最新の情報を学ぶ。4講座/4回 ①「はじめの一歩」からのステップアップ 現代アート 鑑賞から探求へ ②現代美術探求ラボvol.1 美術の転機 —17世紀以前・以後 ③自画像から読む人類の歩み ④現代美術探求ラボvol.2 写真が美術にもたらしたもの	158	250
8	①7月16日 ②9月10日 ③9月25日 ④11月5日	主催	あざみ野カレッジ(地域、自然等)	アトリエ他	地域の方や新しい生き方を模索する人を講師に迎え、生活を豊かにする情報や知識、活動を紹介する。4講座/4回 ①「田園都市線と民俗学」現代に生きる妖怪・風習・民間信仰 ②見て、知って、味わって、楽しむ「浜なし」農園でピクニック ③日本のジャズの発展を支えた幻のレコードレーベル TBM—スリー・ブラインド・マイスの足跡 ④いま本をつくるということ —”ひとり出版社”の働き方—	196	350
9	①10月15日 ②11月12日 ③11月19日 ④11月18日	主催	あざみ野サロン(音楽系)	レクチャールーム 他	美術以外の舞台系事業、アートフォーラムあざみ野の賑わい創出や新たな顧客開拓を目的としたセンター横浜北との共催企画。横浜音楽祭2016との連携企画としても実施。 ①ピヨンド・ザ・ボーダー音楽祭2016 in あざみ野 ②横浜音楽祭2016 シネマ × オルガン「暇の母」 ③Mother Tereco - Electronic & Acoustic Session ④シンセサイザーレクチャー	262	1953
10	①10月23日 ②1月15日 ③3月18日	主催	あざみ野サロン (講演、映像、舞台系)	アトリエ他	美術以外の映像系、舞台系事業及び女性をテーマに、アートフォーラムあざみ野の賑わい創出や新たな顧客開拓を目的としたセンター横浜北との共催企画。 映像系:講演1事業、舞台系:1事業、映像:1事業 ①下重暁子講演会「家族という病」について考える(センター横浜北制作) ②金原亭馬玉 独演会 ③あざみ野アートシネマ vol.3 荒木悠 特集上映会「観察と手口」	296	475
11	①6月20日 -7月11日 ②8月27日 ③1月20日 -1月26日	主催 ③共催	地域アウトリーチ事業	施設外	地域で活躍する市民と協働し、アートを通じた市民の交流、まちの賑わいづくり、コミュニティ活性化を目指す。3回 ①写真ワークショップ「自分の思いと写真」@山内小学校 ②あざみ野夏まつり ③フェローアートギャラリー「阿山隆之展」@岩間市民プラザ	①266	—

2. 子どもたちをはじめとする、次世代育成

No.	実施時期	主催/共催	事業名	会場	事業内容	入場者・参加者数	事業費(支出)
1	7月29日 -8月7日	主催	あざみ野こどもぎやらい2016	展示室1・2	子どもから大人まで楽しめる内容の、自由参加型のワークショップもある 展覧会。 子どものためのプログラム [展示] ①おもしろ動物たち ②Bayang Bayang ③自分の思いと写真 ④さわって、かいて、撮って、焼く—体感写真— [ワークショップ・公演] ⑤後藤さんといっしょにつくろう！ おもしろペンギン(7/30) ⑥光と影のワークショップ(8/7) ⑦あざみ野ナイト2016 川村亘平齋と田中醫の影絵と音楽(8/7)	4,077	2,367
2	4月6日 -3月26日	主催	子どものためのプログラム あざみ野 親子のフリーゾーン	アトリエ	えのぐ、ねんど、かみをつかって親子で自由に遊べる造形広場。 毎月3回 計36回	10,624	3,318
3	4月23日 -3月18日	主催	子どものためのプログラム 障がいのある子どもたちのための「親子で造形ピクニック」	アトリエ	特別支援学校や個別支援学級に通う子ども(と保護者)を対象に自分の好きな素材で造形を楽しむワークショップ。 毎月1回 計12回	203	0
4	通年	主催	子どものためのプログラム 造形活動による学校支援	アトリエ	養護学校や特別支援学級を受入れ、アトリエでの美術造形活動プログラムを無償提供しました。 年間14校(延15団体)	305	0
5	①5月29日 ②9月22日 ③12月11日 ④6月26日 ⑤11月23日 ⑥1月22日	主催	子どものためのプログラム (幼児向けプログラム)	アトリエ	絵具、粘土、紙などの素材に親しみながら、自己表現したくなる気持ちを育む造形講座(年中・年長対象)。年6回 ・やってみよう！ ①焼き物をしよう！ ②ホチキスでとめて、とめて ③木工しよう！ ・みんなであそぼう！ ④えのぐであそぼう！ ⑤ねんどであそぼう！ ⑥はさみであそぼう！	135	215
6	①4月29日 ②7月10日 ③10月2日 ④2月5日 ⑤6/11・25・7/9 ⑥8/18-20 ⑦3月26日	主催	子どものためのプログラム (児童向けプログラム)	アトリエ	様々な素材に触れて作品を作ったり、時間をかけて技法に挑戦したりする造形講座。年7事業、11回 ・つくってみよう！ ①スタンプお絵描き！ ②スチロールでつくろう！ ③石膏でつくろう！ ④糸でつくろう！ ⑤さわって、かいて、撮って、焼く—体感写真— ⑥かき氷を描く木版画教室 ⑦ガラスに挑戦	161	483
7	2月11日	主催	あざみ野フォトアニュアル関連 ワークショップ(子ども写真部) 子ども写真ワークショップ「ハイ& ロースピード★ラボ」	アトリエ他	カメラのシャッタースピードを変えることで、単なる「瞬間」だけではなく、様々な映像表現が可能になる体験を実験風楽しむワークショップ。	11	0
8	10月15日	主催	子どものための鑑賞ワークショ ップ	展示室	展覧会を鑑賞して、技法の体験などを交え、鑑賞への理解を深める。 あざみ野コンテンポラリーvol.7「展覧会を体験しよう！」	2	100
9	①10/19,20,27 ②10/24,25 ③11/21,24 ④11/25,12/2,6 ⑤2/2,6,7	主催	「横浜市芸術文化教育プログラ ム」 連携アウトリーチ	各学校	「横浜市芸術文化教育プログラム」に参加し、近隣の小学校を中心に美術、ダンス演劇等に関連するアウトリーチ事業を実施する。5校実施 横浜市芸術文化教育プラットフォーム ① 三保小学校(造形・紙) ② 高田東小学校(影絵) ③ 中川小学校(造形・粘土) ④ 新田小学校(ダンス) ⑤ すみれが丘小学校(演劇)	761	668
10	7月29日	主催	学校アウトリーチ事業 教師のためのプログラム	アトリエ	小・中・高校の美術の先生と連携して行う、教育現場での次世代育成をサポートする事業。 横浜市中学校美術研究会 夏期研修 「アニメーションの活動」	15	32

3. アーティスト・クリエイターの支援と創造性を活かしたまちづくり

No.	実施時期	主催/共催	事業名	会場	事業内容	入場者・参加者数	事業費(支出)
1	①7月30日 ②8月7日 ③10月8日 ④10月9日 ⑤10月15日 ⑥10月22日 ⑦10月30日 ⑧1月28日 ⑨2月4日 ⑩2月25日	主催	企画展関連トークイベント、交流会	展示室、アトリエ他	企画展会期中の出品作家のトークイベント、インタビュー映像の上映、作家によるワークショップなど、市民との交流の場。 「こどもぎやらりい2016」 ①後藤さんといっしょにつくろう！ おもしろペンギン ②川村互平斎 光と影のワークショップ 「あざみ野コンテンポラリーvol.7」 ③アーティストトーク#1「関川航平、鈴木光」、レセプション ④アーティストトーク#2「風間サチコ、岡田裕子、金川晋吾」 ⑤展覧会を体験しよう！「子どものための鑑賞会」 ⑥ワークショップ:「木版画で実現？ドリームハウス」 ⑦対談「金川晋吾×石川竜一」 「あざみ野フォト・アニュアル」 ⑧アーティストトーク、レセプション ⑨対談「ダゲレオタイプに現れる時間」 ⑩対談「新井卓×石川真生」	608	—
2	①4月29日 —7月10日 ②7月16日 —9月25日 ③9月29日 —12月18日 ④1月7日 —3月26日 ⑤7月2、9日	主催	ショーケースギャラリー	エントランスロビー	エントランスロビーに設置した展示ケースで新進アーティストの小品展を実施し、紹介する。 年4回 ※①については、ワークショップも実施。 ①山本貴美子展 ②岡田健太郎展 ③進藤冬華展 ④對木裕里展 [関連ワークショップ] ⑤山本貴美子ワークショップ「デコラティブカップ」(13名参加)	—	667
3	①4月19日 —7月17日 ②7月19日 —10月16日 ③10月19日 —1月15日 ④1月17日 —4月16日	主催	フェローアートギャラリー	2階ラウンジ	障がいのある人たちの多様な表現を展示、紹介することを通して、障がいのあるなしを超えた豊かな関係性が築かれていくことを目指す。年4回 ①vol.22 ウルシマトモコ「カキタイキモチ展」 ②vol.23 阿山隆之 水辺と地下の世界展 ③vol.24 與那嶺光雄展 ④vol.25 山田あこ「小さな波」展	—	598
4	1月20日-26日	主催	地域アウトリーチ事業 ミニギャラリー「阿山隆之のワールド」	岩間市民プラザ ギャラリー	フェローアートギャラリーで紹介した作家の他施設への巡回展。保土ヶ谷区にある市民利用施設のギャラリーを使用し「個展」という形で市民の方々に氏の作品を楽しんでいただいた。 (1.-11地域アウトリーチ事業の再掲)	—	—
5	4月10日 —3月26日	主催	ロビーコンサート vol.240～vol.263	エントランスロビー	男女共同参画センター横浜北と共催で行う、市民ギャラリーあざみ野制作事業。 横浜市民広間演奏会のメンバーや地域の方々、クリスマスジュニアコーラスにも出演いただき、気軽に楽しいコンサート。 24回(月2回、第2・4日曜日+クリスマス)	2,337	899
6	11月3日 —12月23日	主催	クリスマスジュニアコーラス	アトリエ、ロビー他	小学生対象の合唱ワークショップ。小学生を対象に、2ヶ月間歌を練習してクリスマス時期のロビーコンサートに出演。学年も学校もさまざまな子どもたちが集まって、ひとつの音楽を作り上げてゆく過程で、一緒に歌う楽しさ・音楽の喜びを知ってもらう。練習9回、発表12月23日	307	441
7	①5/5、7/7、8/3 9/22、1/22 ②5/29、7/7、 10/23、11/23	主催	あざみ野アートワゴン&マルシェ ①アートワゴン ②あざみ野マルシェ	エントランスロビー	男女共同参画センター横浜北と共催で行う、ギャラリー制作事業、福祉施設の活動を紹介。障がい者が育てた野菜やカラダにやさしい食品、アートな表現がひかる作品を市民に届け、大勢のお客様で賑わいました。 ①アーティストや福祉施設の特設ショップ「あざみ野アートワゴン」 計5回 ②障がいのある方が作った美味しい品物がずらりと並ぶ「あざみ野マルシェ」 計4回	①8,797 ②9,024	214
8	10月23日	主催	アートフォーラムフェスティバル 2017	アートフォーラム 全館	男女参画センター横浜北と合同で行う、全館挙げての秋の祭典。	3,888	423
9	①5月5日 ②12月3、4日	主催	子どものためのプログラム (申込不要プログラム) 「アートサポーターによるワークショップ」	エントランスロビー	市民が講師になって子どもたちや市民がワークショップ等を行い、楽しく交流するイベント。 ①こどもの日イベント「帽子をつくろう」 ②みんなで作るあったかクリスマス	426	97
10	7月16日 —7月24日	共催	第1回あおば美術公募展	展示室1・2	あおば美術公募展実行委員会との共催事業。 地元の美術に親しみ創作する環境の醸成を目指し開催された公募展。	3,461	—
11	11月8日 —11月20日	共催	2016 青葉区芸術祭 作品展	展示室1・2	青葉ふるさと協議会および青葉区民芸術祭運営委員会との共催事業。 青葉区在住・在勤・在学の方、または主な活動拠点が青葉区内にある文化団体による、絵画・書道・文芸・華道・写真・美術工芸展示および茶席。	4,884	—
12	通年	主催	大学連携	施設内外	横浜北部地域の大学と連携し、インターンの受け入れやイベントへの協力、協働して施設とまちの魅力づくり活動を実施。 ①4大学 企画展他事業での連携(國學院、城西国際、横浜美大、東京藝大) ②青葉区6大学連携事業運営会議での施設連携依頼 ③インターンシップ及び博物館実習(國學院、沖縄県立美術、八洲学園)	—	23

4. 横浜らしい先進的な文化芸術の市民への発信

No.	実施時期	主催/共催	事業名	会場	事業内容	入場者・参加者数	事業費(支出)
1	10月7日 -10月30日 [関連イベント] ①10月8、9日 ②10月15日 ③10月16、30日 ④10月22日 ⑤10月29日 ⑥10月30日	主催	あざみ野コンテンポラリーvol.7 「悪い予感のかけらもないさ展」	展示室1・2	現在のアーティストのさまざまな表現活動を紹介する展覧会。 今回は、著名アーティストの楽曲のなかのフレーズをタイトルに冠し、そこから醸し出されるイメージに沿った作品を展示。 [展示] 岡田裕子、風間サチコ、金川晋吾、鈴木光、関川航平 [関連イベント] ①アーティストトーク ②展覧会を体験しよう!「子どものための鑑賞会」 ③学芸員によるギャラリートーク ④ワークショップ「木版画で実現?ドリームハウス」 ⑤アートなピクニック—視覚に障がいがある人となない人が共に楽しむ鑑賞会 ⑥対談「金川晋吾×石川竜一」	5,856	5,437
2	10月29日 2月18日	主催	あざみ野コンテンポラリー、あざみ野 フォト・アニュアル関連事業 「アートなピクニック」	展示室1・2	視覚障がいのある方となない方が一緒に会話を楽しみながら企画展を観る鑑賞会 ① あざみ野コンテンポラリー vol.7「悪い予感のかけらもないさ展」 ② あざみ野フォト・アニュアル 「新井卓 Bright was the Morning — ある明るい朝に」	27	各企画展 に含む
3	5月8日 -11月27日	主催	フェスティバル連携事業 「横浜音祭り2016」連携事業 ※再掲出	アートフォーラム 全館	「横浜音祭り2016」と連携し、当イベントの賑わい創出に寄与すべく音楽事業を多数開催。 ・ロビーコンサート(5/8~11/27) 計14回 ・あざみ野カレッジ「日本のジャズの発展を支えた幻のレコードレーベルTBM」 ・あざみ野コンテンポラリーvol.7「悪い予感のかけらもないさ展」 ・あざみ野サロンVol.50『ピノド・ザ・ボーダー音楽祭2016 in あざみ野』 ・あざみ野サロンVol.52『シネマ×オルガン 暎の母』 ・Mother Terecoシンセサイザーワークショップ ・Mother Tereco- Electronic Session 計6事業 20回	7,169	各事業に 含む

5. カメラ・写真コレクションの展示・保存・調査研究・教育普及

No.	実施時期	主催/共催	事業名	会場	事業内容	入場者・参加者数	事業費(支出)
1	通年	主催	データベースの整備	—	作品の保管状態を点検・改善しながら作業を行いました。不正確な目録を調査、補完して修正しています。 カメラ:100%=完了、カメラ以外:90%	—	—
2	通年	主催	カメラ・写真コレクションの 管理・修復	—	写真コレクションの調査を進めながら、保存方法をみなおしました。 ・写真を安全に収蔵するため、割れやすい額から外せる作品を外しました。 ・混載保管され潰れやすくなっていた紙資料を取出し、紙保管に適した中性紙箱に収納。	—	—
3	通年	主催	ギャラリー オン ザ ウェブ	—	今年度は、ホームページ上での「収蔵コレクション公開コーナー設置」を実現。8月より一般公開しています。 3月31日時点での公開品目数=450点	—	—
4	通年	主催	ギャラリー オン ザ マガジン	—	当館の広報誌「アートあざみ野」に、カメラ・写真コレクションから資料を選択し、わかりやすい解説を載せて紹介しました。年4回 「ジャック・アンリ・ラルティーク」、「ゼンザプロニカ」、「コンタックスS」、「タイム・アンド・インスト・シャッター」	—	—
5	1月28日 -2月26日	主催	あざみ野フォト・アニュアル コレクション展 「写真 時間の位相」	展示室1・2	当館のカメラ・写真コレクションの中から「時間」をテーマに、約100点を紹介。収蔵品のカメラと写真、関連機材等を通じ「写真と時間の関係」を探る。	6,317	5,699
6	1月28日 -2月26日	主催	あざみ野フォト・アニュアル 企画展 「新井卓 Bright was the Morning — ある明るい朝に」	展示室1・2	現代の写真表現を紹介する企画展の第7回展。今回は、写真史初期の技法、ダゲレオタイプ(銀板写真)を使って制作し、本年木村伊兵衛写真賞、日本写真協会賞新人賞(同協会主催)を受賞するなど現在注目の写真家、新井卓(あらいたかし)の写真を展示しました。	6,317	5,699
7	①1月28日 ②2月4日 ③2月11日 ④2月12、26日 ⑤2月18日 ⑥2月25日	主催	あざみ野フォト・アニュアル [関連イベント] ①アーティストトーク ②対談「ダゲレオタイプに現れる時間」 ③子ども写真ワークショップ「ハイ&ロースピード★ラボ」 ④学芸員によるギャラリートーク ⑤アートなピクニック—視覚に障がいがある人となない人が共に楽しむ鑑賞会 ⑥対談 新井卓×石川真生	アトリエ他	フォト・アニュアル開催に伴い、トーク、レクチャー、ワークショップを実施しました。 ①アーティストトーク ②対談「ダゲレオタイプに現れる時間」 ③子ども写真ワークショップ「ハイ&ロースピード★ラボ」※再掲載 ④学芸員によるギャラリートーク ⑤アートなピクニック—視覚に障がいがある人となない人が共に楽しむ鑑賞会 ※再掲載 ⑥対談 新井卓×石川真生	271	上記5.6に 含む

8	4月28日 -5月29日	主催	Gallery in the Lobby 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション 「カメラのしくみ」	エントランスロビー	例年好評の「カメラのしくみ」第3弾。コレクションを通じて、カメラの基本的なしくみを初出品資料も交えて解説。	—	183
9	10月1日 -23日	主催	Gallery in the Lobby 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション 「一眼レフカメラってなに？」	エントランスロビー	現在でも人気の一眼レフカメラ。その基本的な構造を説明しながら、様々なしくみを持った一眼レフカメラを紹介。	—	
10	10月26日 -11月20日	主催	Gallery in the Lobby 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション 「変装するカメラ」	エントランスロビー	カメラ以外の道具に変装した、ちょっと変わったカメラをご紹介します。	—	
11	3月3日 -3月26日	主催	Gallery in the Lobby 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション 「記念品と写真」	エントランスロビー	陶磁器や時計等の日用品と写真が結びついた記念品を約10点紹介。	—	
12	4月14日 -6月9日	主催	市民のためのプログラム(入門編) 「やさしく、たのしいデジタル一眼カメラ」	アトリエ、野外撮影	初心者対象講座。カメラの仕組みや扱い方を学び、自分の撮りたい表現に近づけるように、レクチャーと実技を通じてプロの写真家が指導しました。 1コース(5回講座)	73	140
13	7月2日 -12月3日	主催	市民のためのプログラム 連続レクチャー テクノロジーからひもとく写真表現史	アトリエ	テクノロジーの発展がどのように新たな視覚を提示し、写真表現を押し広げてきたかを当館所蔵カメラ・写真コレクションを通じて辿りました。(6回講座)	49	41
14	通年	主催	情報誌「アートあざみ野」発行	—	当館主催事業・貸館情報などの広報誌を発行しています。 4月、7月、10月、1月＝年4回発行	—	1,448

## 平成28年度 「横浜市民ギャラリーあざみ野」 収支予算書及び報告書

## 収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	160,000,000		160,000,000	160,000,000	0	横浜市より
利用料金収入	9,401,000		9,401,000	7,836,990	1,564,010	展示室、アトリエの施設利用料。
自主事業収入	4,541,000		4,541,000	5,777,296	△ 1,236,296	入場料・講座料収入・寄付金・助成金・協賛金・セブ-横浜北との共同事業費折半戻入分
雑入	4,257,000	0	4,257,000	4,871,230	△ 614,230	
印刷代	7,000		7,000	0	7,000	新規。利用者サービスの拡充。
自動販売機手数料	750,000		750,000	799,713	△ 49,713	実績による
その他（負担金等）	3,500,000		3,500,000	4,071,517	△ 571,517	管理にかかわるセブ-横浜北から（按分経費の戻入、駐車場利用料）等
<b>収入合計</b>	<b>178,199,000</b>	<b>0</b>	<b>178,199,000</b>	<b>178,485,516</b>	<b>△ 286,516</b>	

## 支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>63,777,000</b>	<b>0</b>	<b>63,777,000</b>	<b>65,050,335</b>	<b>△ 1,273,335</b>	
給与・賃金	52,300,000		52,300,000	54,538,918	△ 2,238,918	職員10人、臨時職員（常勤1人+短時間パート1人）
社会保険料	7,357,000		7,357,000	7,401,769	△ 44,769	
通勤手当	1,528,000		1,528,000	1,551,786	△ 23,786	
健康診断費	82,000		82,000	67,038	14,962	
勤労者福祉共済掛金	60,000		60,000	60,000	0	
退職給付引当金繰入額	2,450,000		2,450,000	1,430,824	1,019,176	
<b>事務費</b>	<b>5,914,000</b>	<b>0</b>	<b>5,914,000</b>	<b>4,487,887</b>	<b>1,426,113</b>	
旅費	145,000		145,000	123,672	21,328	研修、調査、事務連絡のための交通費、日当
消耗品費	850,000		850,000	906,615	△ 56,615	施設運営、事務用に係る消耗品（書籍・雑誌等は図書購入費）
会議賄い費	21,000		21,000	5,202	15,798	会議を主催する経費
印刷製本費	300,000		300,000	96,390	203,610	施設パンフレット、封筒作成など
通信費	450,000		450,000	389,125	60,875	通信・運搬にかかわる費用（郵送料、荷物運搬費、電話料金、インターネット使用料他）
使用料及び賃借料	846,000	0	846,000	1,064,059	△ 218,059	
横浜市への支払分	116,000		116,000	124,441	△ 8,441	横浜市に支払う目的外使用料（飲料自動販売機設置、お弁当販売）
その他	730,000		730,000	939,618	△ 209,618	各種賃料・レンタル料、著作権使用料
備品購入費	600,000		600,000	311,580	288,420	耐用年数1年以上の、物品登録を要する物品（パソコン、音響照明設備、展示台等）の更新、新規購入
図書購入費	153,000		153,000	172,977	△ 19,977	セブ-横浜北図書コーナー閲覧用専門雑誌、学芸参考図書ほか
施設賠償責任保険	77,000		77,000	77,040	△ 40	実績による。セブ-横浜北が契約し経費を折半
職員等研修費	123,000		123,000	47,040	75,960	研修参加費、講師謝金
振込手数料	300,000		300,000	229,278	70,722	実績による
リース料	0		0	0	0	300万円以上の物件のリース料
手数料	149,000		149,000	154,221	△ 5,221	各種手数料、支払手数料
地域協力費	0		0	0	0	必要に応じて支出
その他（委託費ほか）	1,900,000		1,900,000	910,688	989,312	PC修理費、web経費、認知度調査ほか、事務に係る委託、年報作成、施設HP修正等
<b>事業費</b>	<b>35,420,000</b>	<b>0</b>	<b>35,420,000</b>	<b>31,502,668</b>	<b>3,917,332</b>	
自主事業費	35,420,000		35,420,000	31,502,668	3,917,332	自主事業・共催事業、アトリエの経費、広報関係費、事業調査費
<b>管理費</b>	<b>60,065,000</b>	<b>0</b>	<b>60,065,000</b>	<b>55,697,533</b>	<b>4,367,467</b>	
光熱水費	15,650,000	0	15,650,000	12,320,192	3,329,808	
電気料金	9,610,000		9,610,000	8,251,561	1,358,439	
ガス料金	4,140,000		4,140,000	2,295,576	1,844,424	
水道料金	1,900,000		1,900,000	1,773,055	126,945	
清掃費	0		0	0	0	特別清掃。 日常清掃・定期清掃は、その他保全費(建物総合管理契約)に含む
修繕費	2,500,000		2,500,000	2,774,177	△ 274,177	施設・設備の修繕及び更新（セブ-横浜北との折半分を含む）
機械警備費	176,000		176,000	171,720	4,280	建物総合管理契約の一部
設備保全費	41,739,000	0	41,739,000	40,431,444	1,307,556	
空調衛生設備保守	2,230,000		2,230,000	249,718	1,980,282	建物総合管理契約の一部
消防設備保守	511,000		511,000	510,300	700	建物総合管理契約の一部
電気設備保守	960,000		960,000	956,880	3,120	建物総合管理契約の一部（受変電、直流電流、非常用発電設備）
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	建物総合管理契約の一部
駐車場設備保全費	538,000		538,000	537,840	160	建物総合管理契約の一部
その他保全費	37,500,000		37,500,000	38,176,706	△ 676,706	建物総合管理、IT機器、産廃物処理、植栽、自動ドア、ゴンドラ、監視カメラ、自動換気、給排水設備、電気/ガス器具、自動灌水、冷水器、シャワー、展示室・アトリエ・収蔵庫保守、隔年&3か年毎点検・作業、不具合時の緊急点検ほか
共益費	0		0	0	0	
<b>公租公課</b>	<b>6,123,000</b>	<b>0</b>	<b>6,123,000</b>	<b>5,490,822</b>	<b>632,178</b>	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	6,068,000		6,068,000	5,435,122	632,878	実績に基づく
印紙税	55,000		55,000	55,700	△ 700	実績に基づく
その他（ ）	0		0	0	0	
<b>事務経費（計算根拠を説明欄に記載）</b>	<b>6,900,000</b>	<b>0</b>	<b>6,900,000</b>	<b>6,900,000</b>	<b>0</b>	
本部分	6,900,000		6,900,000	6,900,000	0	間接事務費
当該施設分	0		0	0	0	
<b>支出合計</b>	<b>178,199,000</b>	<b>0</b>	<b>178,199,000</b>	<b>169,129,245</b>	<b>9,069,755</b>	
差引	0	0	0	9,356,271	△ 9,356,271	